

# SS JOURNAL

-sustainable support-

Vol.70  
30<sup>th</sup>, Apr.



## 挑戦し続けた2022年度と新芽を育てる2023年度

2023年度がはじまり、コロナ禍でとまっていた社会がやっと動き出した感があります。花粉症でマスク姿の人もまだまだ多く見られますが、あと1か月もすれば3年ぶりにマスク無しでお互いの顔を見ながら話ができる日がくるでしょう。

2022年度は長かったコロナ禍の最終年度となりました。しかしサステイナブル・サポートはその間も多くのプロジェクトの種を蒔いてきました。2022年度は、団体が運営する福祉事業所の3施設目である「シャンツェ」を11月にオープンし、2月にはシャンツェが運営する保護猫カフェ「忍者ねこカフェ猫影」をオープン。また、団体のビジョンとしている「誰もが自分らしく生きることのできる社会」を目指し、誰もが就労支援を受けられる社会の仕組みをつくる取り組みも進めてきました。若者のIT訓練プログラム、氷河期世代の就労支援、そしてWORK! DIVERSITYプロジェクトin岐阜。行政や助成財団等、多数のパートナーと共に多様な困難を抱える人の就労支援に取り組み、誰もが活躍できる社会を目指し、挑戦し続けてきました。

いま、コロナ禍に蒔いてきた種が芽を出したところです。2023年度は、これらの芽を大切に育てていく1年としたいです。ノックス岐阜やアリー、若者支援事業も同様ですが、私達は社会の動きと共に変化し続ける存在でなければなりません。2015年にノックス岐阜をオープンしたときから、社会環境の変化に伴い利用者さんのニーズも企業も変化しています。どんなに変化をしても、目の前にいるお一人おひとりに目を向けて、いま必要なサポートは何かを考え続けていけば、私達の支援も変化していきます。サステイナブル・サポートは、そんな柔軟さとしなやかさをもった団体が在り続けたいです。

やっと芽を出したプロジェクトがしっかりと根を張り、「就労に関する困りごとがあれば、サステイナブル・サポートに相談しよう」と地域の皆様に頼っていただける団体となるよう、2023年度も職員一同就労支援に真摯に向き合って参ります。引き続きのご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

代表理事 後藤千絵

## 就労継続支援B型事業所アリー

2022年度、計40名の利用者さんがアリーに通っていただきました。ステップアップの卒業や新しい出会いを重ねながら、楽しく、そしてアリーらしく一年を過ごしてこられました。2023年度は、アリー開所以来初めての「施設外就労」を行うことになりました。岐阜の老舗旅館十八楼さんが、アリーと同じ川原町に1棟貸しの宿泊施設「十八楼離れ・宿いとう」をオープンされます。伝統ある「旧いとう旅館」を改装した、岐阜の歴史や文化を感じられる場所です。こちらの宿の清掃・宿泊準備作業をアリーが行うことになりました。

アリーは蔵のある町家の宿「帰蝶」の運営をしており、宿の清掃作業を行ってきました。帰蝶をオープンしてからの6月で2年になります。オープン当初は清掃の仕方、準備についても利用者さんと一緒に考え、試行錯誤

しながら行ってきました。今では利用者さん自身が自分で動けるようになり、作業時間も大幅に短くなるまで成長することが出来ました。

今回は初めての施設外での活動、さらには老舗旅館の清掃という重大なお仕事をお任せいただけるということで、アリー一同緊張しつつもワクワクしています。

館内を見学させていただきましたが、歴史が感じられる調度品が飾られておりとても素敵な空間でした。何より、お部屋から望める長良川が素晴らしいです。これから、宿いとうには多くの方が宿泊されると思いますが、岐阜の町が素敵だと、川原町にまた来たいと思っただけのように、帰蝶と同様に利用者さんと協力しながら成長し、清掃・宿泊準備を行いたいと思います。

岡島絵美



## 就労継続支援B型事業所シャンツエ

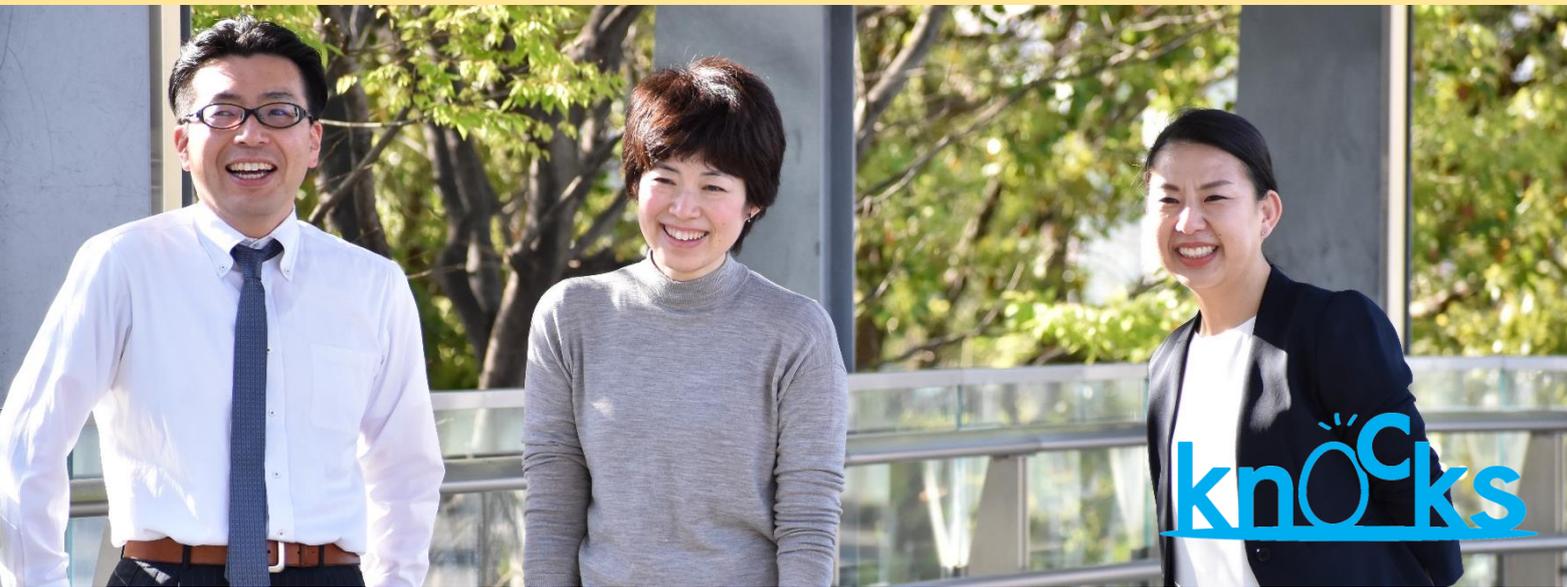


11月にシャンツエ開所して以来、現在利用開始予定を含む9名の利用者さんに通っていただいています。作業の内容は主に、午前は猫部屋のお掃除とカフェの開店準備、午後はカフェでの接客をしています。猫部屋のお掃除では、衛生面で猫ちゃんたちが快適に過ごすことも大切ですが、なにより午後から【猫影】開店に向け、お客様に快適に過ごしていただけるよう丁寧に掃除をしています。また、【猫影】に入ってきたばかりの猫ちゃんは、環境が変わりどんなに馴れていた子も一時的に警戒心が強くなります。人間が信頼できずケージの中で固まる猫たちに時間をかけて優しく語りかけ、少しずつふれあいトレーニングをすることによって人に馴れ心を開いていきます。

そんな猫の姿を見て、猫たちが待っているからシャンツエに行こう、と感じてくださる利用者さんが多いようです。通所し始めたころは、緊張していた方も、猫と触れ合うことで徐々に笑顔が増えていくことが多く見受けられます。また、「人が苦手だけど猫と過ごすことで人との距離感も気にならない」とお話ししてくださり猫がいる事業所の良さを実感します。【猫影】猫たちは、譲渡対象であり新しいおうちを探しながら過ごしています。現在、猫影一期生の中から2匹が里親さんの元で暮らし始めたことも利用者さんの活力になつていると考えています。

また、2月に開店した【猫影】は、3月末までにのべ500名ほどのお客様にご来店いただきました。現在は、利用者さんと夏に向けてドリンクの新メニューを考案中です。シャンツエは多くの方に障害のある方への理解、保護猫の理解を同時に広めていける事業所であると考えていますので、今後もその役割を担っていけたらと思います。

牧野麻記



## 就労移行支援・定着支援事業所ノックス岐阜

2022年度のノックス岐阜はとにかく「変化」のある年度になりました。そんな中、就労移行支援事業では昨年度の就職者が過去最多の18名でした。定着率(就労開始後6か月間働き続けている人の割合)は83%であり、100%には及ばなかったものの、高い割合を維持しました。また、昨年度はスタッフの異動・新規スタッフの登用などスタッフ側の変化も多い1年でした。環境の変化に適応することが苦手な利用者さんも多い中、担当スタッフが変えることでの不安を感じさせてしまい、ご迷惑をかけたときもあつたと思います。そんな中でも就職者を多数輩出できたことは、スタッフは利用者さん一人ひとりに親身に対応することを心掛け、利用者さんがノックス岐阜という「事業所」に信頼を置いていただけたからだと思います。就労定着支援事業(就職後の支援)は、2023年4月現在、23名の方が利用されています。定期的な面談を月に1回以上実施し、場合によっては就労先にもご協力いただき、日ごろ話せない仕事の困りごとについて様々なサポートを行います。就労定着支援事業の面談時に、ノックスを利用されたOBさんが「ノックスに通所してみんなと話すことで元気になった。だから、精神的に辛い時があってもいつも通所できました」と話してくれました。就労を目指すために通所して学ぶだけでなく、利用者さん同士のコミュニケーションが取れる場として、「利用者さんが安心して活動ができる事業所」をさらに目指し、スタッフだけでなく利用者さんと共に成長していきます。

村瀬慎二



## ダイバーシティ支援事業部

2022年度は、6月～《ITの仕事体験プログラム》《ぎふ就職氷河期世代応援プログラム》9月～《WORK! DIVERSITY PROJECT in GIFU》を開始・実施し、ダイバーシティ支援が拡大した一年になりました。《IT～》は20名、《氷河期～》は13名、《WORK!～》は14名が登録されました。どの事業も障害診断に関わらず、様々な悩みや生きづらさを抱えた方に対する支援・サービスを提供いたしました。

《IT～》のみ2023年2月をもって事業を終了しましたが、他2事業については2023年度も引き続き行っております。サステナブル・サポートは、今後も多様な生きづらさを抱えた方に寄り添い、その人にあった支援を提供し、地域の就労支援を包括できる存在でありたいと思っています。

徳永百合名

## 学生・若者支援

若者支援として、大学生や専門学校生など学生を対象としたキャリア支援プログラム《キャリアプロ》と、18歳から概ね35歳までの働きづらさや生きづらさを抱えた若者を対象とした《ぎふキャリア》といった2つの柱事業を軸に、2022年度に引き続き2023年度も運営していきます。

2022年度《キャリアプロ》は年間登録者13名、講座実施10回、参加人数はのべ47名でした。また、ボードゲームなどを楽しみながらコミュニケーションがとれるサークル活動も年10回実施しました。新企画として8月には「事業所内インターンシップ」を行い参加者は5名でした。《ぎふキャリア》登録者は目標15名に対し36名、自由に利用できるサードプレイスやキャリアサポートBA-SEの延べ利用者数は439名と計画の2倍以上となりました。登録36名のうち、アルバイトを含む就労が決まった人数は7名です。その他活動として、就労経験のない若者対象の単発アルバイトを年6回、延べ参加者20名、登録協力企業様にご協力いただき実施した企業見学会を年2回実施し、参加者11名でした。

2023年度は、7年目を迎える《キャリアプロ》は月1回集合形式の講座を継続していきます。また、8月には2回目の事業所内インターンシップも実施予定です。3年目の《ぎふキャリア》は、昨年通りの内容及び個別サポートだけでなく、地域連携を強化し、社会とのつながりや地域資源活用など出口を見据えたサポートを実施していきます。若者が社会から取り残されない、卒業後もつながり先が複数持てる社会を目指していきます。ミツ口和美

SSの…  
フクシの…

現場  
から

# Staff Talk!



1月よりノックスで職業指導員を担当しております村脇恵理（むらわき えり）と申します。SSの仲間に入れていただき嬉しい毎日です。SSスタッフの皆さんにも支えられながら支援について考え取り組んでいます。前職では学生の進路に関する相談業務に携わっていました。社会に出て自分らしく働きたい、生きたいと考える若者の姿に、自分自身も励まされていたように感じます。それはノックスで過ごしていても同様です。利用者さんとの心の関わりを通し、まだまだ多くのことを学びたいと思います。皆さまとのご縁に感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

村脇恵理

はじめまして。4月に入職し、事務局に配属されました阿部 修（あべ おさむ）と申します。趣味はトレイルランニング・スキューバダイビング・スキー・自転車・料理・縫製・レザークラフト・飲酒・旅行など多趣味です。特技は裸足で走ることです。20年ほど税理士事務所にて、税務申告・財務等事務業務に従事してきましたが、親の介護で離職し、介護をしながら飲食店でアルバイトをしていました。介護中はたくさんの人に助けられ、地域共生社会の大切さを身にしみて感じました。人のためになる仕事がしたいという思いが強くなり入職しました。福祉の知識は全くありませんが、皆様の力になれるよう努力しますので、よろしくお願いいたします。

阿部 修



Sustainable  
Support

## 2022年度 活動報告

サステイナブル・サポートでは、福祉サービスやダイバーシティ支援の運営に加え、様々な活動を行っています。

■職員研修■ 職員のスキルアップを目指した職員研修を毎月実施。障害福祉に関わる内容はもちろん、ジェンダーギャップやがんサバイバーの就労支援など、多様な生きづらさに寄り添えるよう、多様な学びの機会をとりました。

■啓発・アドボカシー活動■ 外部に向けたアドボカシー活動として「大卒無業者を孤立させない！プロジェクト」を発足。4/21には厚生労働大臣宛の意見書提出ならびに、厚生労働省にて記者会見を実施いたしました。こちらの取組みは全国版朝日新聞にも取り上げていただき、全国から問い合わせ・反響をいただきました。また「自閉症啓発デー」や「WORLD CLEANUP DAY」にも参加しました。



■組織基盤強化■ サステイナブル・サポートは、昨年7月に設立7周年を迎え、現在は8年目に入っています。事業が増え、職員が増え、組織として過度期にある中、組織力を強化するべく、組織基盤強化にも取り組みました。全社体制で様々な組織課題に対する解決策を検討・実行してきました。「誰もが自分らしく生きられる社会」を目指す組織として、私たちに足りていないものは何か、どうしたら目指す社会を実現できるかを全員で考える機会としています。

2022年度に引き続き、今年度も様々な活動を通して、組織として成長し、活動をアップデートして、邁進してまいります。

徳永百合名



knocks

■就労移行支援事業所 就労定着支援事業所 ノックス岐阜  
〒500-8175 岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階  
TEL: 058-215-1931 MAIL: knocks@sus-sup.org

アリー  
alley

■就労継続支援B型事業所 アリー  
〒500-8008 岐阜県岐阜市玉井町36番地1  
TEL: 058-201-5990 MAIL: alley@sus-sup.org

キャリアプロ  
BA-SE  
ぎふ  
キャリア  
Edu Career Day Center

■キャリアプロ/ BA-SE/ ぎふキャリア  
※実施場所はお問い合わせください。  
TEL: 070-5579-7747 MAIL: career-pro@sus-sup.org

Schanze!

■就労継続支援B型事業所 シャンツェ  
〒500-8225 岐阜市岩地2丁目20-20  
MAIL: schanze@sus-sup.org